

6月7日 全校朝会（放送朝会）



COVID-19 を正しく理解して行動しよう

今日は、コロナウィルス感染症についてのお話です。みなさんは、この感染症の正しい名前を知っていますか。それは、COVID-19（コビット-ナインティーン）です。2019年に発生した新型コロナウイルスによる感染症という意味で、世界的な大流行となったため、2020年2月11日に、WHO（世界保健機関）が世界共通の名前として名付けたものです。

2020年（令和2年）は、3月から5月まで約3か月間学校が休校になりましたね。令和2年度、4月の始業式には「学校が休みになったり、行事が中止になったり、いつも通りにできないこともたくさんあるけれども、今できることを一生懸命やりましょう」という話と、「新しい薬ができれば必ず感染症もおさまるので、それまで頑張りましょう」という話をしました。覚えているでしょうか。世界では予想より早くワクチンが開発され、日本でもようやくワクチン接種が始まりました。緊急事態宣言が延長され、まだ、できないことも多いけれど、今も世界や日本で感染症に取り組み努力する多くの方々への感謝を忘れずに、私達も今できる対策を確実にやりながらもう少し頑張っていきましょう。

さて、ワクチン接種が進めば、じきに感染症もおさまると思いますが、まだ、感染する人がゼロになったわけではありません。市内の学校でも、身近に陽性となる人が出ていますし、自分の家族が陽性になることも珍しいことではなくなりました。陽性になったとしても、ほとんどの人は症状が軽く、しばらく休養すれば回復して仕事にも学校にも戻ることができます。ですから、家族や友達など周りの人が感染しても大騒ぎしたり、心配しすぎたりせずに、回復を祈り静かに見守るようにしましょう。学校では、これまで通りの感染症対策を確実にやっていくことが大切ですが、これは、学校で多くの人が一度に感染することを避けるために必要な対策です。これからも「感染しない・感染させない」という意識をもって、マスクをする、マスクを外したら話をしない、距離をあける、手をこまめに洗う、体調が悪い時は家で休養する、などこれまで以上に、気を付けていきましょう。

今日は、COVID-19 を正しく理解して行動しようというお話でした。